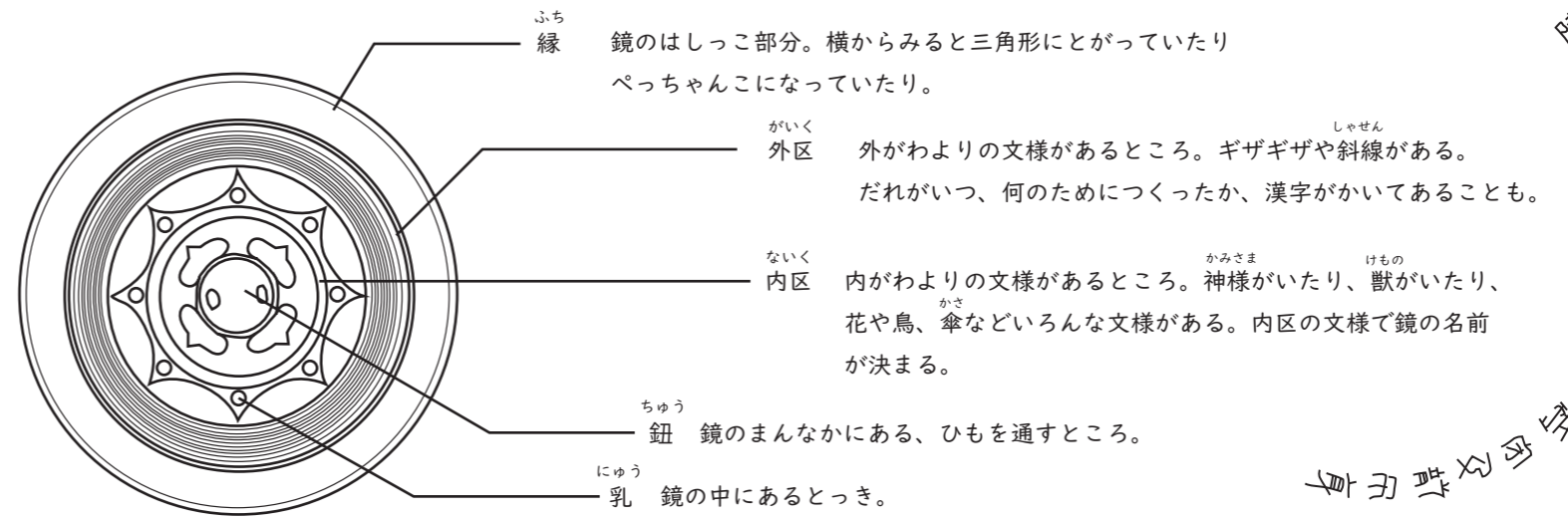


金属をとかして鏡をつくらう

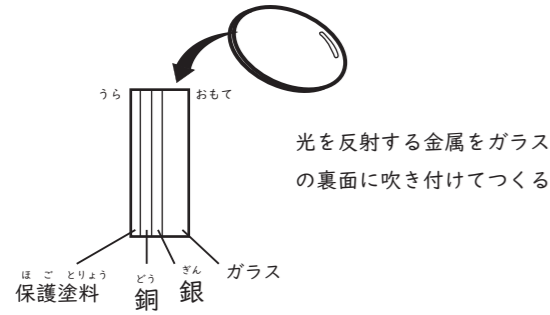
いまとむかしの鏡のちがいは？

	いま	むかし
使い方	はんしゃ うつ 反射させて映す	反射させて映す まよけ 自分の地位を示す はか お墓にを入れる
手に入れる方法	100円均一でも買える	えらい人からもらう ゆにゆう 外国から輸入する
その他	軽くてさびにくい	重たくてさびやすい

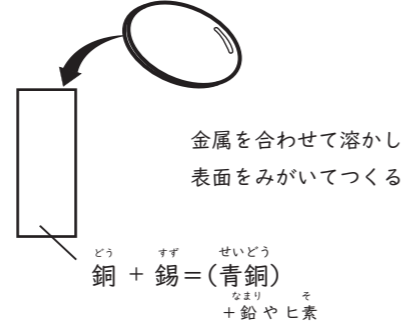


陸奥作音其大姉

○いまの人がつかっている鏡

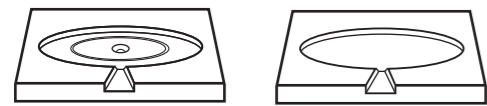


○むかしの人がつかっていた鏡



むかしの人はどうやって鏡をつくったのか？

①金属をいれる型をつくる



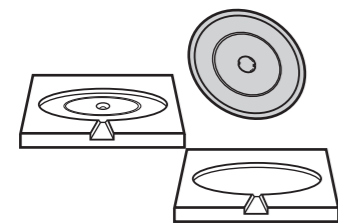
②溶けた金属を流し込む



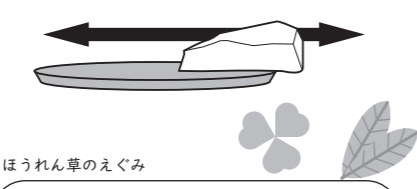
むかしの人は石に文様をほったり、ねんど粘土を使ったりしたよ。
(今日はあまり熱くならないからシリコン製)

青銅はだいたい900℃くらいで溶ける
(今日使う金属は150℃くらいで溶ける)
(低融点合金といいます。ピスマスなどが含まれています。)

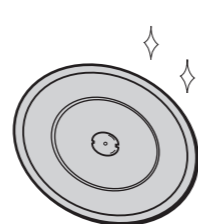
③冷めたら鏡をとりだす



④石や葉っぱで鏡をみがく



⑤完成



どの鏡をつくるかきまったかな？



内向花文鏡

文様が花の花弁のようにみえることから名づけられた
花弁の数は6、8、9枚など色々ある
日本で一番大きな丸い鏡は内行花文鏡で
直径が46.5cmにもなる。

方格規矩鏡

ほうかくきくきょう
□やT、V、Lなどで分けられている鏡。
方格は直角、規はコンパス、矩は曲尺のこと。
四角や丸で古代中国の思想を表現している。

神様や獣、鳳凰
草葉、渦などの文様がはいる

三角縁神獣鏡

さんかくぶちしんじゅうきょう
神様と神獣(龍など)がえがかれている鏡。
文様がたくさんあって、細かい。
鏡のはしっこを横からみると三角形みたいになっているから三角縁という。
ひみこ
卑弥呼(むかしの女王)が中国からもらった鏡ともいわれている。

